

指定管理者に関する第三者評価シート

1 施設の概要

(評価実施年度: 令和 3 年度)

施設の名称	東大阪市立岩田斎場 東大阪市立額田斎場 東大阪市立荒本斎場			指定期間	2	年度～	4	年度		
				選定方法	公募					
				指定管理者名	NSK株式会社					
所管部課名	健康部斎場管理課			評価機関名	株式会社ブレインファーム					
施設の設置目的	葬儀や火葬が公衆衛生上その他住民の福祉の見地から支障なく執り行われる施設として設置。			主な事業	火葬業務 施設の維持管理業務					
設置時期	昭和	38	年度							
主な料金体系 (有料・無料等)	有料									

2 管理運営状況等

年度	実績						今年度(予算)		次年度(見込)	
	平成: 30	年度	令和: 1	年度	令和: 2	年度	令和: 3	年度	令和: 4	年度
供用(開館)日数	岩田:363 額田:347 荒本:251		岩田:363 額田:347 荒本:253		岩田:364 額田:364 荒本:246		岩田:364 額田:364 荒本:250		岩田:364 額田:364 荒本:250	
収支状況 (千円)	収入総額	60,648	60,873	57,937	44,937	45,380				
	指定管理者委託料	60,648	60,873	57,937	44,937	45,380				
	利用料金収入	0	0	0	0	0				
	自主事業収入	0	0	0	0	0				
	その他収入	0	0	0	0	0				
	支出総額	60,031	60,550	59,265	44,937	45,380				
	人件費	39,896	40,387	35,032	34,393	34,878				
	施設維持管理費	13,550	13,532	18,466	6,100	6,022				
	事業費	0	0	0	0	0				
	その他支出	6,585	6,631	5,767	4,444	4,480				
収支差額	617	323	△ 1,328	0	0					

3 第三者評価の総括

仕様書等の基準を超えて優良な場合は「S」
 仕様書等の基準通り実施された場合は「A」
 仕様書等の基準を下回り、一部に不備が見られる場合は「B」
 管理運営上不適切な部分があり、改善が必要な場合は「C」

評価の観点	第三者評価(評価できる点や要改善事項)		
	個別評価 S A B C	指定管理者に対する 主な意見	施設担当課に対する 主な意見
有効性 施設の設置目的が十分に達成出来たか？	A	仕様書の基準に沿って指定管理事業が実施されている。施設の設置目的にも合致した運営が行われている。 事業計画書に基づき、業務水準の維持と接客サービス向上を目的として、独自のセルフモニタリング制度に取り組んでいる。エビデンスの創出につながる良い取り組みであり、有効に機能していることが確認できたので継続していただきたい。 専用Webサイトの作成が令和2年度に計画されていたが、延期されている。早期に取り組みを進めていただきたい。	専用Webサイト作成を延期した要因を確認した上で、取り組みを見届けていただきたい。
効率性 経費の低減等の効果があったか？	A	令和2年度経費支出の総額をみると、前年度より減少している。それに加え、荒本斎場の利用件数が増え、3施設の利用平準化が図られている点も大変評価できる。 指定管理期間2年目、3年目についても法人が持つノウハウを活用し、3施設の効率的な運営につなげていただきたい。	経費支出の予算と実績のモニタリングを継続していただきたい。
適正性 公の施設に相応しい適正な管理運営が行われたか？	B	備品管理シールが貼付されていない備品が見られたので改善されたい。 職員として必要な接遇、人権、セキュリティ、設備操作などの研修について計画通り実施できており、個人情報の保管も適切に行われている点は、評価できる。 「緊急時対応マニュアル」「防犯マニュアル」「防災マニュアル」の活用方法や場面について、定例研修で取り上げていただきたい。 事業報告書について、誤字や計算間違いがあるので、改善していただきたい。 また、セルフモニタリングの状況報告は適正な管理運営のエビデンスとなるので、事業報告書への記載を検討していただきたい。	備品管理管理シールの添付状況について、見届けていただきたい。 指定管理者の提出する事業報告書の内容を十分確認していただきたい。 事業報告書にセルフモニタリングの状況を盛り込むべきか指定管理者と検討していただきたい。
継続性 財務状況 財務健全性が確保され、適正な会計処理が実施されているか？ 労務管理状況 職員の労働環境整備に向けた適切な取り組みが実施されているか？	A	法人の財務状況は健全である。 事業の支出予算と実績を比較し、その乖離要因を把握し、市に報告していただきたい。	指定管理事業者の提出する事業の予算と実績の比較を行い、乖離要因を把握していただきたい。
	A	適切な水準で労務管理が実施されており、労務リスクにより指定管理者の業務に支障をきたす可能性は低いと思われる。 年次有給休暇の取得率が低いので、改善をしていただきたい。	事業の継続性から見た労働環境の整備は適切と思われる。 有給休暇の取得推進状況の改善を見届けていただきたい。
今後期待される点や その他特記事項	最終評価 A	仕様書の基準に沿って指定管理事業が実施されており、独自の施設運営管理のノウハウが活用され、その効果が表れている。独自のセルフモニタリングを継続することで、さらに優れた施設運営が行われることを期待している。	